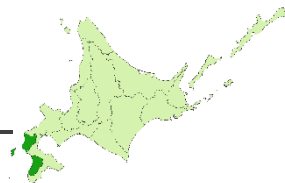


01 「ゼロカーボンひやま」ステップアッププロジェクト	カテゴリー	ゼロカーボン、環境生活、教育
	関連するSDGsのゴール	       
02 ひやま農林業持続的発展推進事業	カテゴリー	担い手確保・育成、農林水産業、教育
	関連するSDGsのゴール	    
03 道南・ひやま「育てる漁業」チャレンジプロジェクト	カテゴリー	産業振興、農林水産業
	関連するSDGsのゴール	   
04 檜山地域関係人口定着促進事業	カテゴリー	移住交流、地域資源、担い手確保・育成
	関連するSDGsのゴール	   
05 「ひやまの食と観光」魅力向上・創出事業	カテゴリー	産業振興
	関連するSDGsのゴール	      
06 「ひやまの島旅・船旅」魅力向上・発信事業	カテゴリー	産業振興
	関連するSDGsのゴール	     
07 檜山地域公共交通確保対策モデル事業	カテゴリー	地域交通、産業振興
	関連するSDGsのゴール	    



01 「ゼロカーボンひやま」ステップアッププロジェクト

カテゴリー ゼロカーボン、環境生活、教育

事業概要（令和4年度～令和7年度）



「ゼロカーボンひやま」クリスマスイベントの様子

檜山地域は、風力など再生可能エネルギーの導入ポテンシャルが非常に高いことに加え、CO2の吸収源となる森林が土地面積の8割を占めるなど、大きな強みを有しています。これらの地域特性を最大限発揮し、「ゼロカーボンひやま」を実現するため、脱炭素化への気運醸成に資する木育イベントなどの実施や、管内各町及び事業者等の地域プロジェクト創出に対する支援を行います。

また、管内企業の将来的な洋上風力発電関連産業への参入の可能性を探るため、勉強会の開催や先進地における取組視察、資格取得講習等により地域経済への波及効果を高める方策を検討します。

令和5年度の主な実績

江差町内の未就学児を対象に、道産木材を利用した物作り体験や紙芝居や絵本による環境教育等を含めたイベント（七夕、クリスマスの2回）を振興局庁舎内で実施しました。

洋上風力発電関連事業の機運醸成を図るため、講師を招き、管内各町担当者などを対象とした勉強会を開催しました。

関連するSDGsのゴール



02 ひやま農林業持続的発展推進事業

カテゴリー 担い手確保・育成、農林水産業、教育

事業概要（令和5年度～令和7年度）



農業系高校生を対象とした出前授業

農林業の担い手の減少、人口減少に伴う労働力不足や消費量が低迷する中、ひやま農林業を持続的に発展させるためには、次代を担う人材の育成・確保や多様な人材の活用、農産物の差別化を図ることが重要であることから、関係機関と連携を図りながら、人材の育成・確保、労働力の確保及び高付加価値化に係る取組を推進します。

令和5年度の主な実績

次代を担う農業系高校生を対象とした出前授業、農福連携を推進するための農作業体験会（施設内就労型）やセミナー等を開催しました。

規格外品やキズ物等の付加価値向上を図るため、生産者と食品加工業者とのマッチングを行いました。

高校生への「林業」や「北森カレッジ」の説明のほか、地域住民を対象として地域材の利用促進のPRを行いました。

関連するSDGsのゴール



檜山振興局

地域政策推進事業

03 道南・ひやま「育てる漁業」チャレンジプロジェクト

カテゴリー 産業振興、農林水産業



トラウトサーモン料理コンクール

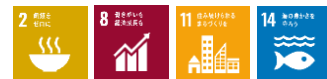
事業概要（令和5年度）

主要魚種であるスルメイカ等の資源低迷から漁業生産量が10年前の3割まで減少しているほか、漁業者のうち60歳以上の割合が7割を占めるなど、道内他地区と比べ、漁業者や漁協の経営が厳しい状況となっていることから、養殖漁業のさらなる発展を図るため、飲食店やホテル等での販売イベントやPRの実施、料理コンクールの開催などにより、販売強化、知名度向上に取り組みます。

● 令和5年度の主な実績

管内の飲食店と連携したスタンプラリーによる集客とPR、札幌地区でのイベント、函館市内のスーパーでの店舗販売や檜山の養殖水産物等を用いた料理コンクールを通し、檜山製品の販売強化、知名度向上に取り組みました。

関連するSDGsのゴール



04 檜山地域関係人口定着促進事業

カテゴリー 移住交流、地域資源、担い手確保・育成



上ノ国高校での講演会の様子

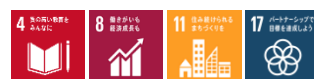
事業概要（令和5年度～令和7年度）

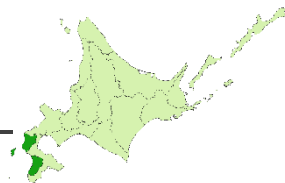
全道よりも早く人口減少・少子高齢化が進む檜山地域において、関係人口の創出・定着に向けて、「移住・定住の促進」「ワーケーションの推進」「地学協働の推進」「地域おこし協力隊員定着の促進」に関する取組を進めることで、持続可能な地域社会のモデルを構築します。

● 令和5年度の主な実績

関係人口の創出・定着に向けて、首都圏での移住交流イベントへの参加、地域課題を逆手に取った今金町での研修コンテンツの開発、上ノ国高校との協働による地域への愛着を醸成するための地域探求学習、地域おこし協力隊に関する大学への訪問を実施しました。

関連するSDGsのゴール





05 「ひやまの食と観光」魅力向上・創出事業

カテゴリー 産業振興

事業概要（令和4年度～令和8年度）

行政機関、企業、団体等が連携して、地域資源の魅力を最大限に活用した事業を展開することにより、檜山管内の食と観光産業の魅力向上を図ります。具体的には、商品の磨き上げを意識しながら、どさんこプラザや道の駅での販路拡大支援及びふるさと納税等の管内PR、SNS等を活用した情報発信やプロモーション等を実施します。



試食会での調理の様子

令和5年度の主な実績

どさんこプラザ等での販路拡大支援とともに、檜山産品の活用事例や生産地の紹介を通して、管内事業者等の相互連携と商品開発を促進する「檜山産品 試食会・産地見学会in奥尻」を実施しました。

関連するSDGsのゴール



06 「ひやまの島旅・船旅」魅力向上・発信事業

カテゴリー 産業振興

事業概要（令和5年度）

檜山地域の認知度向上と貴重な観光資源である離島（奥尻島）の魅力向上による観光振興のため、旅行会社等を対象とした現地視察、体験ツアーの実施を通して、観光体験メニューの開発やガイド等の人材育成、環境に配慮したサステナブルツーリズムの推進、情報発信に取り組み、新たな旅行商品の造成を図ります。



ウニ採り体験の様子

令和5年度の主な実績

新たな旅行商品造成に向けて、旅行会社等を対象とした現地視察、体験ツアーを実施しました。

関連するSDGsのゴール



07 檜山地域公共交通確保対策モデル事業

カテゴリー

地域交通、産業振興



上ノ国町デマンドバス実証運行

事業概要（令和5年度）

檜山管内を運行する広域バス路線は、人口減少やマイカー普及などにより利用者が減少している状況です。

そこで、持続可能な地域公共交通の確保に向けた路線見直しを促進するため、デマンドバスの実証運行と連動し、乗降データの収集や分析などの調査とその検討を行うなど、プロセスのモデル化と普及を図ります。

● 令和5年度の主な実績

上ノ国町デマンドバスの実証運行と連動した「公共交通確保のための調査・検討」を実施し、関連する広域バス路線（江差木古内線）の見直しの方向性を示した報告書を作成しました。

関連するSDGsのゴール

